



ロータリー2024～2025年度 会員一人一人が主役、つながりを広げ、 さあ行動しよう

第2840地区 2024～2025年ロータリーのテーマ

館林ロータリークラブ会報

R.I加盟承認 1958年6月2日

Club ID 13956

2024年9月13日(金) 第3207回例会報告 (No. 10)

点 鐘・ソング 奉仕の理想

— 会 長 挨 拶 —



関井 宏一 会長

皆さん、改めましてこんにちは。

暑い日が続いております。日曜日は、チャリティゴルフということで館林からは、6名の参加させて頂きました。非常に天気も良く、天気が良いということはまだまだ暑い一日で、何事も無く、暑かったものですから、熱中症等々いなくて良かったですが、館林のほうはですね、6名出席したうち、矢島会員が事情で欠席のため、代理で出た事務局の石川さんがなんと館林ロータリークラブで一番というか、全体では50位で、非常に素晴らしい成績を上げさせていただいたということで、拍手をおめでとうございます。飛び賞か何かを頂いたのですよね。次は石川長司会員でございまして、230人ほど出席がありまして、そんな中、田部井ゴルフ部長とあと副部長の石川長司さんと小池敏郎会員には大変お世話になりました。ありがとうございました。

皆様は、ルッキズムという言葉をご存じでしょうか。ルッキズムというのは造語で、70年代くらいに出てきた言葉のようですが、ルックにイズムという何々主義というような言葉を繋げた造語ですが、ルッキズムというのは、見た目主義です。見た目主義というのは、要は見た目が悪いと価値がない。極端な事を言うと、ある意味差別的な部分がある考え方らしいのです。そんな中、世

界的に、いわゆる外見容姿に対してコンプレックスを持っているのは日本人が世界の中で一番。次が韓国。次がイギリスというような話らしいのですが、ルッキズムというのが非常に流行ってきていて、例えば会社の中でも見た目が良い人は出世できますが、悪い人は出世できない。極端な事を言うと、見た目だけで全てが決まってしまう考え方らしいのです。DEIを提唱するロータリークラブとしては、今後そういった問題にどう取り組んでゆくのかなという新しい課題みたいなのが、これから今までないような差別的なものが出てきているのかなというふうに思いますので、そういうふうなものに対しても考えていかなければならないのかなという風に思います。以上で会長挨拶を終わりにします。本日も出席ありがとうございます。

— お 客 様 の ご 紹 介 —

CRAYON 合同会社 代表社員 栗原 裕子 様

CRAYON 合同会社 管理者 皆川 春香 様

米山奨学生 シェルパ・ニマ・テンディさん

— 会 務 報 告 —

関井 宏一 会長

R 6. 9. 7 (土) 地区チャリティゴルフ大会
於・鳳凰ゴルフ倶楽部

参加者 関井 宏一・飯塚 一成・石川 長司
小池 敏郎・田部井孝一

R 6. 9. 11 (水) 第64回館林創意くふう作品展審査会
於・アゼリアモール「アゼリアホール」
参加者 本島 克幸

今後の予定

R 6. 9. 14 (土) ロータリー財団補助金管理セミナー
於・Gメッセ

対象者 関井 宏一・小堀 良武・本島 克幸
藤島 厚・山本 樹

R 6. 9. 20 (金) ガバナー補佐訪問
於・ニューミヤコホテル館林

— 幹 事 報 告 —

- R 6. 9. 20 (金) 第3回クラブ協議会
於・館林市文化会館小ホール
対象者 理事・役員・各委員会委員長・地区役員
地区委員
- R 6. 9. 21 (土) (公財) 米山梅吉記念館
秋季例祭 於・米山梅吉記念館ホール
- R 6. 9. 29 (日) R L I セミナー パート I
於・前橋問屋センター会館
対象者 本島 克幸・藤島 厚・毛塚 宏
山本 樹
- R 6. 10. 4 (金) ガバナー公式訪問
於・ニューミヤコホテル館林
- R 6. 10. 4 (金) 館林創意くふう作品展表彰
式 於・アゼリアモール「アゼリアホール」
- R 6. 10. 6 (日) 米山カウンセラーセミナー
於・前橋問屋センター会館
対象者 長柄 光則・飯塚 一成
- R 6. 10. 6 (日) 米山記念奨学セミナー
於・前橋問屋センター会館
対象者 関井 宏一・小堀 良武・飯塚 一成
大澤 孝司・本島 克幸
- R 6. 10. 8 (火) 関井年度第1回親睦ゴルフ
コンペ 於・桃里カントリー倶楽部
- R 6. 10. 14 (月) 花と緑の館林づくり協議会
苗木配布会 於・ダノン城沼アリーナ周辺
対象者 関口 昇
- R 6. 10. 16 (水) 第4分区B会長・幹事会
於・つかさ本店
対象者 関井 宏一・小堀 良武
- R 6. 10. 19 (土) 地区リーダーシップセミナー
於・桐生グランドホテル
対象者 関井 宏一・小堀 良武・宮内 敦夫
- R 6. 10. 19 (土) R I 会長代理ご夫婦歓迎晩
餐会 於・桐生グランドホテル
対象者 関井 宏一・小堀 良武・宮内 敦夫
- R 6. 10. 20 (日) 地区大会／エクスカーショ
ン 於・美喜仁桐生文化会館／桐生絹遺産めぐり
- R 6. 10. 27 (日) R L I セミナー パート II
於・前橋問屋センター会館
対象者 本島 克幸・藤島 厚・毛塚 宏
山本 樹
- R 6. 11. 15 (金) 第4分区A・B 10 R C 親睦
チャリティゴルフ大会 (ホスト)
於・ゴールド佐野カントリークラブ
- R 6. 11. 24 (日) R L I セミナー パート III
於・前橋問屋センター会館
対象者 本島 克幸・藤島 厚・毛塚 宏
山本 樹
- R 7. 6. 21 (土) ~ 25日 (水) 国際大会
於・カルガリー (カナダ)



小堀 良武 幹事

1. 例会場・例会時間の変更
 2. 会報、週報
 3. その他
- ◆ガバナー事務所
- ①地区補助金通知書金額訂正のご連絡
【申請事業総額】 ¥ 5 5 0, 2 7 5
【決定補助金額】 \$ 1, 8 5 3. 5 9
【レート】 \$ 1 = ¥ 1 5 4
【送金額】 ¥ 2 8 5, 4 5 3
 - ②R L I セミナー ディスカッションリーダー出欠
確認のお願い
 - ③保坂年度財務報告書のご送付
 - ④地区リーダーシップセミナーのご案内
【日 時】 10月19日 (土) 13:30 ~
16:45 (登録開始13:00 ~)
【会 場】 桐生グランドホテル
【登録料】 一人 2, 000円
【対象者】 会長・幹事
 - ⑤竹中年度PELS (会長エレクト・次年度幹事セ
ミナー) 日程変更のご連絡
【当初日程】 2025年3月22日 (土) ~
3月23日 (日)
【変更後日程】 2025年3月8日 (土) ~
3月9日 (日)
 - ⑥「第16回ロータリー韓日親善会議」再度締切日
延長のご連絡
【締切日】 9月20日 (金)
 - ⑦R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会のご案内
【日 時】 10月19日 (土) 17:40開会
(登録受付17:10 ~)
【会 場】 桐生グランドホテル
【登録料】 お一人様 12, 000円
【対象者】 会長・幹事・地区役員
 - ⑧カルガリー国際大会についてのご案内
【日 程】 2025年6月21日 (土) ~
25日 (水)
【開催地】 カナダ カルガリー
- ◆ (公財) ロータリー米山記念奨学会
「ハイライトよねやま 294号」のご送付
▼全文は、こちらよりご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight294_pdf.pdf

◆館林東ロータリークラブ

第4分区B会長・幹事会開催のご案内

- 【日 時】10月16日(水) 18:30～
- 【会 場】つかさ本店 中2階
- 【登録料】5,000円
- 【対象者】会長・幹事

◆桐生赤城ロータリークラブ

地区チャリティーゴルフ大会参加の御礼状のご送付

◆東京三鷹ロータリークラブ

東京ピースウィングREC10周年記念式典ビデオダイジェスト及びメイクアップについてのご案内

◆館林市役所

令和6年度複十字シール運動募金のご協力のお願い

◆館林つつじサポーターズ倶楽部

会報のご送付

◆花と緑の館林づくり協議会

苗木配布会への協力依頼についてのお願い

- 【日 時】10月14日(月・祝)
- (雨天決行・荒天中止)
- 10:00～正午頃まで(苗木が無くなり次第終了)

【会 場】ダノン城沼アリーナ周辺

【対象者】関口 昇

— 委 員 会 報 告 —

知るたびに新しいロータリーです

五大奉仕の復習とロータリー月間の課題提示



クラブラーニング 毛塚 宏 常任委員長

例会出席報告

通算3207回例会

会 員 数	55名
出席率算出会員数	51名
出席者数	33名
欠席者数	18名
出席率	64.71%
前前回修正	76.92%～76.92%



出席・ニコニコBOX委員会 磯野 哲也 副委員長

— ニ コ ニ コ B O X —

☆関井 宏一会長 大変頂きました

本日は、CRAYON 合同会社栗原裕子様、皆川春香様卓話ありがとうございます。米山奨学生シエルパ君ようこそ

☆本島 克幸副会長 頂きました
CRAYON さん、卓話ありがとうございます。

☆横田 善次会員 頂きました
本日は、CRAYON 合同会社様、障害のある社会の解説ありがとうございます。

☆磯野 哲也会員 頂きました
まだまだ暑い日が続いていますが、お体に気を付けてガンバリましょう。また、本日はクレヨン様卓話よろしくお願いたします。

— 卓 話 —



プログラム健康増進委員会 今泉 始宏 委員長



CRAYON 合同会社 代表社員 栗原 裕子 様

皆さん、こんにちは。お招きいただきありがとうございます。ご紹介にあずかりました CRAYON 合同会社の栗原裕子と申します。まず簡単に自己紹介をさせていただきたいと思います。私は生まれも育ちも館林市です。中学校の体育教師をしている父親の娘として生まれ、私自身も教員という道に進みました。小学校の通常学級、特別支援学級、そして特別支援学校の担任をするなかで、特別支援教育の経験を積み、児童の発達障害への関心がより深くなってゆきました。20 数年間の教員生活を、令和 3 年 3 月 31 日に退職いたしました。療育を待っている子供たちがたくさんいるのに、事業所が少ない。そんな話を聞いたので、じゃあ私がやろうということで退職を致しました。今現在は、事業所もたくさん建っております。私自身も、自分で教室を建てるという目標に向かって現在に至っております。この会社を立ててようやく 3 年経とうとしております。経営者としてはまだまだ未熟で修行の身ですが、今日は発達障害の子ども達というテーマで 20 分間お付き合いいただければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

すべての子どもたちの笑顔と意欲を大切に。これは私の信条です。楽しい、嬉しいという気持ちから笑顔が自然と出てきて、したい、やってみたいという意欲につながると思っています。教員時代から私が温めてきた思いを言葉にしてみました。学校や保育園、こども園幼稚園の子どもたちの現状です。文部科学省の調査においては、現在小中学校で、学習面、行動面で著しい困難を示す生徒児童です。2012 年では 6.3% だったのが、2022 年には 8.8% という

結果になっております。35 人のクラスに 3 人程度といわれていますが、現状は 30 人のクラスに 6 人から 7 人がおります。学校の先生たちも支援の方法が分からずに困っている人がたくさんいます。友達と喧嘩ばかりしちゃう。自分の気持ちを伝えられない。集団行動が苦手。読み書き計算が苦手。そういう子ども達です。では、私が今夢中で取り組んでいる発達障害についてです。最近は多様性という言葉の中に発達障害のカテゴリーも含まれるのでよく耳にするかなと思います。忘れ物が多い。何回言っても忘れちゃう。悪気はないのだけれども相手に失礼なことを言ったり傷つけたりしちゃう。空気が読めない。人の気持ちがわからない。新しい環境になじめない。予定変更は混乱してしまって泣いたりわめいたり癇癪を起してしまいます。ルールの理解がなかなかできない等あります。これは、脳の機能障害であり、親の育て方や本人のせいではありません。しかし、このままにしておく育てづらくて親御さんは大変です。本人はもっともっと大変で、生きづらくトラブルを起こす子が多くいます。このままではその子の良さを見つけてあげることが出来ず、トラブルを起こす子、自分勝手、困った子、変わった子、こんなふうに言われてしまいます。でも、一人一人の特性に応じた支援をすることで、障害から個性へ方向転換することが出来ます。しかし、何もしないと個性にはなりません。そこで、療育というキーワードが出てきます。小さいうちから療育をしていくことがその一歩となります。療育とは医療と教育を融合したものです。自分でできることを増やす。でも療育はどこでやるの。あまり知られていないかと思います。ここは児童福祉法に定められております。未就学のお子さん、乳児とか幼児ですね、児童発達支援というカテゴリーで事業所があります。小学生から高校生までは放課後等デイサービスという場所になります。現在館林には児童発達支援が約 4 か所、放課後等デイサービスが約 16 か所と、事業者の数は年々増加傾向にあります。それぞれの教室がそれぞれの特色を持つ理念に基づいて運営しております。療育に来る子どもたちは、健康診断やクリニックで発達障害と医師から診断を受けております。よく聞くのは、ASD、自閉スペクトラ

ム、ADHD、注意欠陥、多動、LD、学習障害、このほかに言葉の遅れ、集団活動に参加できない等、診断がついていないお子さんもたくさんいます。通所するための手続き方法です。保護者が医師の診断書及び意見書を頂いて、行政に行きます。市役所役場になります。そうすると相談事業所さんというところを紹介してくれます。ここは館邑会でいうとほっとさん、それと総合支援センターのにこにこさんが当たります。そうすると受給者証が発行されます。医療のほうはピンクの紙だと思いますが、障害のほうは黄色い用紙になります。令和3年度から年長、年中、年少は無償化になりました。それ以外の年齢の児童は、年収によって一部保護者負担となりますが、890万円というところを境にして、以下のお家は1か月4,600円。それ以上は、37,200円となっていますが、通ってくるお子さんの保護者はまだ若いので、大体4,600円という方がほとんどです。その他は、国と県と市で通所の料金を負担しています。お子さんが通う保育園、幼稚園、こども園、学校の周りに市役所、それから病院、保健所、相談事業者、太田市の児童相談所、それからさっき言った児童発達支援の小さいお子さんの教室です、放課後等デイサービス、小学生以上の教室です。これらの機関がお子さんの健やかな成長の支援をしている機関となります。ここで連携を取って、子どもたちのために支援をしてゆくことがとても望ましいと考えています。その事業所であるある教室を私は二つ運営しております。一つ目はてらびあぼけっとという教室です。ここは令和4年3月に開所いたしました。小さいお子さんの教室になります。現在うちの教室は44人の子どもたちが通ってきております。ABAの応用行動分析というのをを用いてお子さんのかわり方を職員がしっかりと学び、適正な方法を教える療育をしております。良い行動に注目してほめることで、その行動を強化し、伸ばしてゆく方法になります。行動というところを丸の中でイメージしていただくと、丸が良い行動だと思ってください。この適切な行動を大きくしてゆくことで、不適切な行動が小さくなってゆく、そんな風に療育をしております。コンセプトです。たくさん小さく確実に。例えば泣いている、怒っている子を、ちゃんと言葉

で伝えるように教育をします。ちくちく言葉、嫌な言葉ですね、それを温かいハートの言葉に変えてゆきます。ひとりぼっち、これをみんなで遊ぶと楽しいよ、皆で活動するともっと楽しいよ、という風に教えてゆきます。イライラ。クールダウンの方法を教えてゆきます。実際の療育の様子です。小集団のリズムウォークをやっているところです。はじめの会です。先生のほうを見る、真似をする、そういうことを目的としてやっております。次は個別のほうのプログラムになります。マッチングというのをやっています。これはしっかりやってゆくことで、文字や数の概念へとつながることなので、丁寧にプログラムを組みながら進めています。この子は今、色のマッチングをしております。食育のマッチングです。栄養素ごとに色を分けて、食べ物をその上に乗せてマッチングする方法です。直接的に食べることはできなくても、食材に興味を持つところから始めさせていただいております。それから顔のマッチング。鏡を見たり、人の顔を見たりしながら、お正月でよくやる福笑いみたいな形になるのですけれども、目と鼻とか口の位置、そういうのも大事な療育の一つとなっています。SSTと書かれていますのですけれども、ここはソーシャルスキルトレーニングと言って、社会性、コミュニケーション力を学ぶ学習になっています。にこにこのカードを持っていますが、このカードと同じ顔をしてごらんとって同じ顔をしたり、ぷんぷんって怒った顔をしたり、どのお顔が良いのかなんと言って、ハートとかハート割れに分けていったりする方法です。これはハートの言葉です。良い言葉を言えるとハート木をつくってあるので、木にハートのマークをたくさん張ることが出来ます。一つ言うと、一つハート。なので、いっぱい言うとかこの木にたくさんハートが貼れることになります。そんな風に視覚支援をしながら、僕はいっぱいハートを出したよというのがわかるような支援をしています。これがいずれ生活の中でできるようにと考えながら療育を進めています。鉛筆の持ち方です。年長さんでも今後就学ということがありますのでだんだんと鉛筆の持ち方、それからなぞり書き、ということをやっています。手先の細かな動かし方の練習をします。生活においては、

お箸の使い方や、ボタンをはめたり、チャックをしたり、そういうことに繋がるようにいろいろ工夫しながら、教材を選んで行っております。集団の制作です。ここは週に一回制作活動を行っております。この目的は、リーダーの先生がいるのですけれども、その先生の指示がわかっているか、用具の使い方はどうかという形で指導しています。できなかったことに関しては、次の一か月後の集団の制作の時にできるように個室で練習をして次は何か一つでも、ちょっとでもできることが増えるように支援をしています。遊びのなかでの療育です。要求を出す。言葉を出す。言葉を伝えること、言葉で言うことの大切さを、ここで遊びながら教えています。好きな遊びを使って、お友達と関わることの楽しさを教えています。小さいお子さんは、先生が間に入らないと、なかなかお友達同士で遊ぶことが出来ないので、先生を仲介としながらお子さんと遊べるように支援をしています。

もう一つの教室はこぼんはうすさくら。小学生の部になります。こちらも ABA を用いて行っております。SST と学習支援を主軸にした療育を行っております。コンセプトです。仲間と咲かせる笑顔の未来。一人ひとり教室に机があって、学校と同じような環境で行っています。療育の様子で。平日のプログラムです。赤いところが現在やっているところ。下はプログラムがいろいろ書いてあります。あと時計のようなものがあるのですけれども、こちらは時計が読めなくても時間の減り具合が一目でわかる、そんな支援グッズです。知覚聴覚でわかりやすく子どもたちに伝えております。宿題をやっている様子です。宿題の他に、その子がわからない、苦手だなあと思うような学習を教室のほうで、その子がわかる方法で習得できるように教えています。それからソーシャルスキルトレーニングです。今やっているものは、距離感を学ぶものです。おうちの方から、知らない人のそばに行ってしまうたりとか、突然人に声をかけちゃったりなんていう悩みも聞きます。そこで、関わる人を色分けにして、それとロールプレイという形で実際に線の上にそれぞれの関わる人を立っていただきながら、どのくらいの距離で関わったら良いのかなあというのを学習している様子に

なります。これもソーシャルスキルトレーニングで、ハートの言葉をやっています。声の大きさです。これはみんなと一緒に楽しむというところで、間違い探しゲームをやっているところです。注意力、集中力、こういうのも養っていています。これは場面学習をやっている様子です。それと、体づくり運動で、うちは理学療法士がおります。それなので、月に何回かですけれども、こんなふうに理学療法士さんが体を使う楽しさを教えてくれています。夏休みの活動です。今年の夏休みは、藍染め体験をしてみました。かき氷。太田のこどもの国。それから工作。作ったもので遊ぶ。毎週木曜日はカレー作りをしたので、その作り方の手順とかそういうことをやりながら、危険の無いように片手に軍手をして作るということをやりました。今年は、計画的にジャガイモ作りをし、そのジャガイモを採って、収穫をして、カレー作りをするということを挑戦してやってみました。冬休みの活動です。自分で作った凧で凧揚げをしています。書初め大会もしました。それから、初詣にも行って参りました。クリスマス会。城沼体育館のところにお散歩行って来ました。

子育てをしている保護者は、毎日毎日のことなので楽しいことばかりではなくて大変なこともたくさんあります。きっとこんな様子だったのかなというのをイラストにさせていただきました。そういう保護者を支える支援も、私の事業所は行っております。事業所内相談支援と言って、お母さんやお父さん、おばあちゃんが来ることもあります。平均で一人1時間くらいお話をしていけます。多い人は2時間以上、昨日も3時間以上相談がありました。また、保護者からの要望があると、学校や園に訪問に行っております。保育参観や授業参観だけでは見られない、わからない子どもの姿を私のほうで見聞かせていただいて担任の先生や、園長先生、校長先生と連携を取って、その子がどんな風な課題をもっているのか、これからどんな支援を行ったこの子が生きやすいようになるのか、そんなことを連携持ちながら進めていっております。ここは保護者の要望がないと動けませんので、保護者からの要望があつて私が出てゆくという形になります。多い時には月に

5件6件、もうちょっとあるかなと思うのですが、行っています。

人から愛される子。一言で言うと目指すのはここになります。私たちの事業所は、ここを最終目標としています。一人ひとり、得意なこと、苦手なことが違う子どもたちを、一緒にくくってしまうのはどうしても無理があります。多様化の価値観が進んでいる現在、個性を大切にするのですけれども、でもやっぱり協調性も大切に育ててゆきたいなと思っています。人が好きな子こそ、人から愛される子なのかなと私は思っています。

子どもが笑顔でいられるように。障害は本人のせいではありません。育て方でもありません。でも、保護者は苦しいのです。本人は、もっともっと苦しいのです。関わり方を少し変えるだけで、適正な行動が出現してくるということがたくさんあります。その関わり方を伝え、学ぶ環境を提供する仕事が私は療育だと思っています。子どもたちの笑顔を引き出し、意欲につながられた時、学ぶことを楽しめるのだと感じています。

最後に YouTube に出ているので紹介させていただきます。こちらは私の思いがたくさん詰まっていますので、もし、発達障害、療育に興味がありましたら、こちらの QR コードをちょっと見て、覗いていただけたら嬉しいなと思います。本日はご清聴ありがとうございました。これからも地域のために尽力してまいります。今後ともご指導の程宜しくお願い致します。



矢島 孝昭 S・A・A

—本日のお食事—



エビチリ

- ◆例会日 毎週金曜日 12:10 より
- ◆例会場 ニューミヤコホテル館林 (館林市文化会館内)
館林市城町 3-1 TEL0276-50-1541
- ◆事務所 館林信用金庫本店内
館林市本町 1-6-32 TEL・FAX 72-8181
- ◆E:mail tatebayashi.rc@cc9.ne.jp

- 第 2840 地区ガバナー 森 末廣
- 会 長 関井 宏一 副会長 本島 克幸
- 幹 事 小堀 良武 副幹事 藤島 厚
- 会報 委員 齊藤 一則 森田 信一郎
- 発行責任者 関井 宏一 編集責任者 齊藤 一則